

◎大楠幼稚園について

1 閉園時期について

(1) 閉園時期

閉園時期については、これまで大楠幼稚園関係者連絡会や説明会において、以下の2つの案を提示してきましたが、案2の令和6年度末閉園の方向で検討を進めます。

案	閉園時期	備考等
案1	令和5年度末閉園 (令和5年度入園児の募集なし)	○令和5年度の入園児を募集しないため、現在の年中組が最後の学年となり、年長時に下の学年がない単学年となる。 ○また、年長時に単学年となることを事前に説明を受けていない状況。
案2	令和6年度末閉園 (令和6年度入園児の募集なし)	○現在の3歳児は、大楠幼稚園への入園が可能。ただし、年長時に下の学年がない単学年となる。 ○現在の2歳児は、大楠幼稚園に入園できない。

(2) 理由

今後も園児数の減少が見込まれ、大楠幼稚園の幼児教育の水準を維持していくことが困難であるため。

2 保護者・地域関係者への説明会等の経過

閉園時期の検討に当たっては、保護者代表・地元町内会長・大楠幼稚園長・大楠小学校長で構成する大楠幼稚園関係者連絡会を中心に意見交換を行い、そのほか、未就園児保護者への説明、大楠幼稚園保護者全体への説明及び大楠地域への町内会回覧により意見聴取を行っています。

年月日	会議等
令和4年3月4日	第1回大楠幼稚園関係者連絡会
令和4年4月28日	第2回大楠幼稚園関係者連絡会
令和4年5月上旬	大楠地域町内会自治会へ回覧配布
令和4年5月14日	未就園児保護者説明会
令和4年6月20日	大楠幼稚園保護者説明会
令和4年7月15日	第3回大楠幼稚園関係者連絡会
令和4年8月上旬	大楠地域町内会自治会へ回覧配布

3 これまでいただいている主なご意見

(閉園に関すること)

- 大楠幼稚園は支援のレベルが高い。私立幼稚園が支援を要する園児の受け入れ行っていることが閉園の理由になることは理解できない。他の幼稚園では体験できない事など、下の子どもにも体験させたい。
- 保護者と町内会の心情としては存続してほしいが、園児数が減少する現状では、維持できない。納税者の立場からすると、閉園するタイミングだと思う。
- 園児が少なくなっている中で、子どもが本当に幸せな幼児教育を受けられるのか考えなければならない。
- 3年保育や延長保育を実施し、存続を検討してほしい。
- もっと未来の子どもたちのために考えてほしい。予算よりも。

(閉園時期に関すること)

- 下の兄弟姉妹が卒園するまでの5年間は存続してほしい。
- 閉園時期について、案3として1年延ばして、令和7年度末閉園を検討してほしい。
- 昨年の願書配布時に単学年となる可能性について同意を保護者に得ていないのであれば、案1は考えられない。
- 3年保育を検討するために、近隣の幼稚園の説明会や体験保育などが夏までに集中しているため、案1、案2ともに反対。

(閉園の影響等に関すること)

- 大楠幼稚園が閉園となると地域や大楠小学校との連携が取れなくなることが心配。
- すみれ組(4歳児)の人数が少ないことが心配。閉園するにしても、大楠幼稚園で良かったと思ってもらいたい。
- 下の子が3歳になるが、上の子とも下の子ともを別の幼稚園に通わせることは難しい。
- 児童の減少、予算の問題については、民間の幼稚園にも言えることで、民間の幼稚園が廃園となったとき、公立の幼稚園がないと市外や遠方の幼稚園等を考えなくてはならなくなるため困る。

(周知に関すること)

- 現在3歳の子が今から私立幼稚園に入ると、途中入園になってしまう。幼児教育であれば、入園するタイミングを他の子と一緒にしたいと考えているため、閉園時期を早めに教えてほしい。
- 関係者連絡会の中で出されている要望を他の説明会の場でも伝えてほしい。

○周知の方法について、回覧板では漏れもあるため、教育委員会のホームページのほか、大楠幼稚園のホームページにも掲載してほしい。また、回覧板等は、余裕をもって回してほしい。

○閉園の周知を行った際に、さらに入園希望者が減ることが心配。

○地域の方との意見交換の場を設けてほしい。

○これまでの意見交換の内容を Q&A 形式でホームページ等で周知してほしい。

(閉園後の対応に関すること)

○民間の幼稚園では、入学金、バス代、制服代など経済的負担が大きいため、補助金等を検討してほしい。

○待機児童などの受け皿が無いなど困る人が出ないように対応してほしい。

(跡地利用に関すること)

○この地域に子どもたちが安全に遊べる場が少なく、学童クラブ等がほしいという声がある。高齢者や大人も活用できる地域交流の場も提案したい。

○大楠地区には、未就学児や保護者同士が交流できて集える場がないため、そのような場を設けてほしい。

○大楠地区に私立幼稚園の誘致等をして、大楠の自然豊かな環境を使った教育を検討してほしい。

○跡地利用について、具体的な案を出したほうが良いと思う。

(協定書に関すること)

○埋立地は問題なく使用されている。大楠幼稚園と荻野小学校の設置によって、協定書の内容の多くは達成したという理解をしている。保護者と市でよく話し合いをすべきだと思う。

4 跡地の利活用について

これまで保護者や地域関係者からは、放課後児童クラブ（学童クラブ）、放課後子ども教室及び地域の方々が集える場所などにしてほしいとの意見があります。

今後、FM推進課と連携しながら跡地の利活用を検討していきます。

5 今後の予定

令和5年度大楠幼稚園園児募集（令和4年11月1日開始）までに、教育委員会会議において閉園時期を決定する予定です。

【参考】

1 園児数の状況

(1) 年度別園児数の推移（定員70人）

学年	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
4歳	23人	26人	27人	22人	22人	22人	16人	16人	9人
5歳	34人	24人	33人	28人	24人	26人	24人	16人	17人
計	57人	50人	60人	50人	46人	48人	40人	32人	26人

(2) 令和4年度園児の住所地

年齢	西行政センター							西行政センター 以外の地域	合計	
	林	山科台	長坂	佐島	佐島の丘	芦名	秋谷			
4歳		1人			1人	2人		4人	5人	9人
5歳	1人	1人	1人	2人	1人	4人	3人	13人	4人	17人
計	1人	2人	1人	2人	2人	6人	3人	17人	9人	26人

2 閉園の理由

(1) 市立幼稚園の役割を果たしたこと

①私立幼稚園の補完的役割

少子化の進展と、私立幼稚園数及び定員の増加により、民間での受け入れが十分可能となったこと。

②幼児教育の研究活動

横須賀市私立幼稚園協会との連携を深め研究委託を行い、研究成果の発信をしていくことで、横須賀市全体の幼児教育の充実を図ることができること。

③支援を要する園児の受け入れ

子ども・子育て支援新制度により、入園希望者の受け入れについての応諾義務が規定されていることや、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）の施行により、私立幼稚園においても支援を要する園児の受け入れを行っていること。

(2) 最近の入園希望者が減少傾向にあること

大楠小学校区の未就学児が平成21年度以降増加もしくは横ばい傾向であるものの、大楠幼稚園の入園希望者は、定員割れの状態が続いており、令和4年度の入園児数は9名であったこと。

(3) 幼児教育の無償化により、私立幼稚園の保護者負担額が減少したこと

令和元年10月から幼稚園の利用料が無償化され、私立幼稚園の保護者負担額が減少したことにより、翌年度以降の入園希望者がさらに減少したことが考えられること。